

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	人間ドック事業	所管	市民医療センター事務部 総務課
			TEL 2992-1151

事業の目的 (何の為に 行うか)	予防医学の観点から、疾病の早期発見、発症の予防をし、市民の健康管理を促進する。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	地域住民及び健康保険連合会加入組合員等	対象とした数	340,000	人
		実際に 利用した数	25,722	人

活動の内容	(何を したか)	①個人または契約健康保険組合等から受診日、受診コースなど予約の受付を行う。 ②本人に受診当日、来院いただき各々コースに基づいた検査を受けてもらう。 ③検査終了後、医師との面接希望者には面接時に検査結果の説明を行い、判定及び所見を記入し面接後、本人へ渡す。 ④その他については、後日医師が検査結果についての判定及び所見を記入、個人別の成績表を本人へ郵送する。							
活動実績	項目名	精密検査実施者数	909	項目名	精密検査指示者数	2567	項目名	人間ドック受診者数	11736
		----- 単位 人			----- 単位 人			----- 単位 人	

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	利用者一人当たり単価(円)
	547,063	517,749	517,749	20,129.0

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	精密検査実施割合	精密検査実施者数/精密検査指示者数	100	35.4	35.4
			----- 単位 %	----- 単位 %	----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 []			
		終了 ⇒ 事業完了		終了 休止	
	予算	* 現状どおり 増額		減額 終了	

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了				
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [] 終了			
	予算	現状どおり 増額		減額 終了	

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	090100	TEL	2992-1151		
事業コード	人間ドック事業							
090101								
開始年度		昭和	51	年度	—	終了年度	平成	年度

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令			
	分野別計画・指針							
	関連・類似事業	がん検診事業(成人保健課)						
	総会計の体系	政策	第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち	施策	6節 保健・医療	中柱	3 地域医療の充実	小柱

③事業の内容	行政改革大綱における行動計画への位置づけ		H19市民意識調査における施策の順位...43施策中 11 位		実施計画における位置づけ... H19 ○ H20 ○	
	コード	3121	コード	3211	コード	3261
	受益者負担の見直し		民間委託の推進		事務事業見直しの推進	
	事業開始の背景	健康に対する意識が高まってきた昭和48年頃、予防医学の観点から市民の保健医療の向上及び健康維持・増進を図るための健診センターを建てる構想ができ、地域医療の確保(市民医療センター開設)と同時に健康検診事業(人間ドック事業)を開始した。				

④前年評価と改善点	目的(何のために、具体的に)					
	予防医学の観点から、疾病の早期発見、発症の予防をし、市民の健康管理を促進する。					
	対象(誰を、何を対象としているのか)			利用数の考え方		
	地域住民及び健康保険連合会加入組合員等			人間ドック等の受診者		

⑤事業の具体的な内容及び実施方法	対象数	単位	平成 18 年度	340,000	人	利用数	単位	平成 18 年度	25,299	人
			平成 19 年度	340,000	人			平成 19 年度	25,722	人
	事業の具体的な内容及び実施方法									
	①個人または契約健康保険組合等から受診日、受診コースなど予約の受付を行う。 ②本人に受診当日、来院いただき各々コースに基づいた検査を受けてもらう。 ③検査終了後、医師との面接希望者には面接時に検査結果の説明を行い、判定及び所見を記入し面接後、本人へ渡す。 ④その他については、後日医師が検査結果についての判定及び所見を記入、個人別の成績表を本人へ郵送する。									

⑥前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>					
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 => (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])				
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	平成19年度中に改善した点					

・人間ドックを円滑に進めるため、問診スペースを2箇所にし、順路の見直しも行った。
・腹囲測定を行うためプライバシーに配慮した専用スペースを設けるとともに、検診着が更新時期だったので測定しやすいものに変更した。
・健診システムを、平成20年度より始まる特定健診に対応できるよう改修した。

⑦事業費	収益と事業		平成 18 年度	単位:千	平成 19 年度	単位:千	平成 20 年度	単位:千
	当初予算		558,486		547,063		586,499	
	決算(見込み含む)		528,621		536,609			
	補助金等	一般会計からの繰り入れ	24,848		28,473		※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。	

⑧事業費	当初予算		558,486		547,063		586,499
	決算(見込み含む)		492,726		517,749		
	費用内訳	人件費	347,417		369,679		
		職員数(正職・臨職・嘱託医師)	25.8人、30.4人、13.1人		28.4人、27.5人、12.7人		
材料費・経費・減価償却費等		138,634		141,413			
	企業償還金・消費税等	6,675		6,657			
利用者一人あたり(単位:円)		19,476		20,129			

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	精密検査実施者数	精密検査を指示した者のうち実際に検査を受診した人数	人	569	909	900	
		精密検査指示者数	人間ドック後精密検査を指示した人数	人	1,608	2,567	2,700	
		人間ドック受診者数	1日コース+半日コース	人	11,215	11,736	11,700	
成果分析	精密検査実施割合	精密検査実施者数/精密検査指示者数	目標値	100	100	100		
			実績	35.3	35.4		実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2	
			達成率	35.3	35.4		1	

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		類似・関連事業などとの整理・統合		受益と負担の関係	受益者負担の有無

⑦二次評価	他事業との整理・統合	<input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題	現状、一日あたりの人間ドック等受診者数が適正な運用人数なのか検討する必要がある。精密検査を受診する人が増えてくることから、受診者に対する生活改善等の指導に取り組み必要がある。		
	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
	平成20年度における目標設定	特定保健指導等を実施する。 生活習慣病の発生を未然に防止するため、対象者に生活改善等の指導を行う。	10月	

⑧二次評価	平成21年度における事業の方向性	国の健康管理指針「健康日本21」では従来の疾病予防の中心であった「二次予防」(健康診査等による早期発見・早期治療)から、「一次予防」(生活習慣を改善して健康を増進し、生活習慣病等を予防すること)に重点を置いた対策を推進している。当センターにおいても現状予算のなかで、従来の人間ドック事業のほか、生活習慣病の対象者に対し生活改善等の指導を充実させていく。		
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 => (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])		
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
	評価理由	国の健康管理指針「健康日本21」では従来の疾病予防の中心であった「二次予防」(健康診査等による早期発見・早期治療)から、「一次予防」(生活習慣を改善して健康を増進し、生活習慣病等を予防すること)に重点を置いた対策を推進している。当センターにおいても現状予算のなかで、従来の人間ドック事業のほか、生活習慣病の対象者に対し生活改善等の指導を充実させていく。		

⑨個別計画における方向性	事後評価	平成21年度における事業の方向性				
	事前評価	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了			
	事前評価	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
	事前評価	部内優先順位... 2 位	非常に高い	高い	やや低い	低い

⑩環境基本計画	優先度評価	<input checked="" type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
		<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
		<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
	評価理由	オプションの検査項目を追加したり、乳がん検診への積極的な対応が図られていることは評価できる。また、疾病の早期発見・治療による医療費削減の効果を期待できることから「優先的に資源配分」と評価した。

⑩個別計画における方向性	環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ... 無し	計画コード	
	個別計画			
	個別計画			
	個別計画			
⑩個別計画における方向性	個別計画	本事業の左記計画における位置づけ... 無し	計画コード	
	基本目標			
	主要課題			
	施策の方向			